

# 3月定例会

●会期:2月27日(金)  
~3月18日(水)

## 提出議案 審議採決

承認1件、条例制定2件、条例改正8件、その他1件、諮問1件、一般会計予算1件、特別会計予算3件、事業会計予算2件、陳情3件、発議1件

## 予 算

### ◆令和8年度一般会計予算

66億7,410万円

前年比:3,460万円の増(5.3%増)

### ◆令和7年度一般会計補正予算(第11号)

予算の総額に、歳入歳出それぞれ1,593万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ69億509万円とする。

## 承 認

### ◆承認第1号 専決処分の承認を求めることについて

内容:令和7年度一般会計補正予算(第10号)については、第51回衆議院議員選挙に係る費用を、令和8年1月20日に専決処分したことから、議会に報告し承認を求める。



## 条例制定

### ◆議案第2号 半田山森林環境整備基金条例

内容:半田山の森林環境の保全・育成並びに半田山自然公園の活用による地域振興に資する事業に要する資金に充てるため創設する。

### ◆議案第3号 特定乳幼児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例

内容:子ども子育て支援法の一部改正に伴い、乳児等通園支援事業(こども誰でも通園制度)の運営に関する基準を定める条例を制定する。

## 条例改正

### ◆議案第4号 行政手続条例の一部改正

内容:行政手続法の一部改正に伴い改正を行う。

### ◆議案第5号 議会議員及び長の選挙における選挙運動の公営に関する条例の一部改正

内容:公職選挙法施行令の一部改正に伴い、選挙公営に係る単価が改正されたことから改正を行う。

### ◆議案第6号 特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

内容:報酬支払区分の一部見直しに伴い改正を行う。

### ◆議案第7号 職員の給与に関する条例の一部改正

内容:ラスパイレス指数の改善対策として、給与削減措置を実施するため改正する。

### ◆議案第8号 国民健康保険税条例の一部改正

内容:基礎賦課額(医療保険分)、後期高齢者支援金等賦課額、介護給付金賦課額に新たな「子ども・子育て支援給付金賦課額」が加わることから改正する。

### ◆議案第9号 桑折町火入れに関する条例の一部改正

内容:令和7年2月に岩手県大船渡市で発生した林野火災を機に総務省消防庁において「林野火災注意報」が新設されたことを受け伊達地方消防組合においても令和8年3月から運用が開始されることから改正する。

### ◆議案第10号 半田山自然公園設置条例の一部改正

内容:バンガロー解体に伴い、対象の利用料廃止。併せて、その他の利用についても、実態に合わせて修正廃止をする。

### ◆議案第11号 道路占用料徴収条例の一部改正

内容:道路法施行令の一部改正及び県道路占用料徴収条例の一部改正に伴い改正する。

### ◆議案第12号 町道路線の廃止

内容:河川管理用通路において歩行者、自転車の安全確保の観点から関係機関と協議を行い町道の廃止を行う。

## 諮 問

### ◆諮問第1号 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて

内容:次の者を人権擁護委員として推薦することについて議会の意見を求める。

住所 桑折町陣屋

氏名 渡邊 美昭

## 請願・陳情

### ◆福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書提出の陳情について

(陳情者)

伊達市保原町字舟橋180

日本労働組合総連合会福島県連合会伊達地区連合会

議長 高橋 誠一

(審査委員会)

産業厚生常任委員会

(審査結果)

継続審査

### ◆東京都新宿区において顕在化した事例を受けて、政党機関紙の庁舎内勧誘行為に関する早期の実態把握と再発防止を求める陳情について

(陳情者)

福島市野田町字八郎内57-8

福島県を明るくする会

代表 嶋原 隆

(審査委員会)

総務文教常任委員会

(審査結果)

不採択

### ◆補聴器の購入費助成を求める陳情書について

(陳情者)

福島市渡利字中江町66

福島県県北高齢期運動連合会

会長 齋藤 和衛

(審査委員会)

産業厚生常任委員会

(審査結果)

継続審査

## 発 議

### ◆発議第1号 アメリカとイスラエルの「先制攻撃」に対する抗議を政府に求める意見書(案)

原案否決(賛成3名 反対6名 欠席2名)

提出者 桑折町議会議員 川村滋道

賛成者 桑折町議会議員 齋藤松夫

臨時会

◇補正予算

既定の予算額に、歳入歳出それぞれ1億5,851万円を追加し、総額68億8,073万円とする。

補正予算の主な歳入		
項目	補正額	適用
物価高対応子育て応援手当支給事業補助金	2,993万円	18歳以下の児童に応援手当として支給する事業
地方創生臨時交付金	1億2,858万円	物価高騰対策重点支援事業 ・公共施設・農業用資材 ・こおり生活応援券 ・民間放課後児童クラブ、認定こども園

補正予算の主な歳出		
項目	補正額	適用
地域開発事業費	80万円	町民研修センターエネルギー高騰対策支援事業
社会福祉総務一般費	501万円	福祉施設エネルギー高騰対策支援17事業所事業
物価高対応子育て応援手当支給事業費	2,993万円	18歳以下の児童1人あたり2万円支給事業
農業振興対策事業費	505万円	農業用資材等高騰緊急支援事業
商工振興対策費	1億1,700万円	こおり生活応援商品券発行事業
子育て支援事業	72万円	民間放課後児童クラブ及び認定こども園に対するエネルギー等高騰対策支援事業

一目でわかる 審議結果



結果報告のページへ

令和8年第1回桑折町議会臨時会（1月15日） ○全会一致で可決の議案

議案名	
議案第1号	令和7年度桑折町一般会計補正予算（第9号）

令和8年第2回桑折町議会定例会

	川村滋道	齋藤松夫	半沢正保	羽根田ひとみ	石幡政子	岡本貴士	鈴木隆志	佐藤武朗	齊藤謙	半澤高	川名静子	原賢志
一般質問者	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

○賛否の分かれた議案

議案名	川村滋道	齋藤松夫	半沢正保	羽根田ひとみ	石幡政子	岡本貴士	鈴木隆志	佐藤武朗	齊藤謙	半澤高	川名静子	議長	可否
議案第7号 桑折町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	●	○	●	○	○	○	○	○	-	可決
議案第8号 桑折町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第13号 令和7年度桑折町一般会計補正予算（第11号）	●	●	○	○	欠	○	○	○	●	○	○	-	可決
議案第18号 令和8年度桑折町一般会計予算	●	●	○	○	○	○	○	○	○	●	○	-	可決
議案第19号 令和8年度桑折町国民健康保険特別会計（事業勘定）予算	●	●	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	-	可決
発議第1号 アメリカとイスラエルの「先制攻撃」に対する抗議を政府に求める意見書(案)	○	○	●	●	欠	欠	●	●	○	●	●	-	否決

○：賛成 ●：反対 欠：欠席 □：討論者

○全会一致で可決の議案

議案名	議案名
承認第1号 専決処分の承認を求めることについて	議案第15号 令和7年度桑折町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）
議案第2号 桑折町半田山森林環境整備基金条例	議案第16号 令和7年度桑折町介護保険特別会計（保険事業勘定）補正予算（第3号）
議案第3号 桑折町特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例	議案第17号 令和7年度桑折町半田財産区特別会計補正予算（第1号）
議案第4号 桑折町行政手続条例の一部を改正する条例	議案第20号 令和8年度桑折町後期高齢者医療特別会計予算
議案第5号 桑折町の議会議員及び長の選挙における選挙運動の公営に関する条例の一部を改正する条例	議案第21号 令和8年度桑折町介護保険特別会計（保険事業勘定）予算
議案第6号 桑折町特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	議案第22号 令和8年度桑折町水道事業会計予算
議案第9号 桑折町火入れに関する条例の一部を改正する条例	議案第23号 令和8年度桑折町下水道事業会計予算
議案第10号 半田山自然公園設置条例の一部を改正する条例	諮問第1号 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて
議案第11号 桑折町道路占用料徴収条例の一部を改正する条例	発委第1号 桑折町議会ハラスメント防止条例
議案第12号 桑折町道路線の廃止について	所掌事務調査報告について
議案第14号 令和7年度桑折町国民健康保険特別会計（事業勘定）補正予算（第3号）	常任委員会の閉会中の継続審査の申し出について
	閉会中の所管及び所掌事務調査の申し出について

※報告は採決なし

賛成	議事	反対
<p>川名静子</p> <p>反対討論の内容は十二分に理解できる。しかし、子ども・子育て支援金制度は子育て世帯を社会全体で支えるため、全ての世代や企業が拠出した支援金をもって子育て施策の拡充に充てるものと理解し、この改正に賛成する。</p>	<p>議案第8号 国保</p>	<p>川村滋道</p> <p>2024年「子育て支援法」の改訂に基づき来年度から医療保険料に上積みして「子育て支援納付金」が徴収される。この施策の財源は、医療保険料を直上げして徴収する。子育て世帯への支援は重要だがそのための財源を医療サービスを削減したり医療保険料に上乗せして徴収するべきではない。従ってこの議案に反対する。</p>
<p>羽根田ひとみ</p> <p>①既に議会で可決されたことを進めなければ町はまわっていかない。町民説明会でも保護者の方より早く進めて欲しいという切実な願いがあった。当事者の思いを大切にすべきだ。これが止まったら誰が責任をとるのか。 ②現場で活動する中で発生した早急に直すべきものと必要とされるものと判断したので賛成する。</p>	<p>議案第13号 補正予算</p>	<p>齋藤松夫</p> <p>次の理由で反対。①秘密会での決定で法的疑義が生じた義務教育学校設置予算の計上。②このままいけば町民の不信感高まる。③登下校のあり方についても町民の合意が必要。これを先送りする事務執行は誤りだ。④人口減少時代の町の都市計画理念はコンパクトな町づくりだ。統合小学校の建設は醸芳小学校の場所で行うべきだ。</p>
<p>石幡政子</p> <p>新規事業の「歴史観光交流センター」の建設、「義務教育学校設置事業」5歳児検診等が盛り込まれている。特に、「義務教育学校設置事業」は教育環境の向上をはかる重要な事業であり子ども達のために粛々とすすめていただきたい。町政全体のきめ細かい計画の基、町民の健康と福祉の向上、町の発展を確保できる予算と捉え賛成する。</p>	<p>議案第18号 一般会計</p>	<p>川村滋道</p> <p>反対の理由は教育委員会の秘密会で決定された「義務教育学校」設置に関わる事務執行である。あり方検討委員会の提言は①小学校の統合は避けられない、②統合には義務教育学校や小中一貫校も視野にいれ議論すること、③保護者・地域住民・行政が一体となり、相互理解を深め決定することとある。会議録にはその議論が無いため反対する。</p>
<p>佐藤武朗</p> <p>本予算は、桃を中心とした農業振興や担い手確保、有害鳥獣・クマ対策など地域の安全と産業基盤を支える内容である。子育て支援、教育環境整備、給食無償化の継続に加え、脱炭素や観光施策も盛り込まれ、義務教育学校設置準備を含め、将来を見据えた総合的なまちづくりを評価し賛成する。</p>		<p>齋藤松夫</p> <p>次の理由で反対。①法的有効性に疑義、「あり方検討委員会提言」無視で町民合意を欠いた義務教育学校設置予算認めぬ。②民営認定こども園支援事業費は、事実上反する町長答弁をもとに進められた事業の延長での予算計上。③スーパー内自習室借上料並びに土地貸付料予算計上も同様。④中山間地道路改良予算が少なすぎる。</p>
<p>岡本貴士</p> <p>本予算案は、町民の郷土愛と共創の力を基盤に、農業振興と子育て支援を両立し、義務教育学校や交流拠点整備など未来への投資を着実に進める内容である。一方で大型事業が続く中、財政負担の増大が懸念される。ゆえに費用対効果の徹底検証と将来世代への責任を強く求め、本予算に賛成するものである。</p>		<p>齋藤松夫</p> <p>本意見書案には反対する。国際紛争は善悪で単純に判断できず、安全保障や国際法など多様な要素を踏まえる必要がある。地方議会が特定国のみを非難し抗議を求めるのは適当でない。他市議会は停戦等を求めているが本案は趣旨が異なる。核施設攻撃の禁止や対話促進、日本の橋渡し役など現実的対応こそ重要であり賛同できない。</p>
<p>川名静子</p> <p>町資料から令和8年度標準財政規模は昨年より増え概ね39億円程度と見込まれる中、事項別にみると教育費、民生費に約13億、総務費約11億、町民生活の安全安心が担保されているが、人口減少、少子化対策は待ったなしだ。危機感が伺えない、早急に取組むべき課題と申し上げ賛成討論とする。</p>		<p>半沢高</p> <p>反対の理由は次の3つ。①日本政府の立場がまだ明確ではない点。明19日以降に高市・トランプ会談が行われる予定であり、意見書提出はそれ以降とするべき。②イランの核兵器開発疑惑。イランが核兵器を持つようになった場合、湾岸諸国にとって脅威となる。③当問題を解決するために国連がもっと積極的に動くべきである。</p>
<p>齋藤松夫</p> <p>次の理由で賛成。①イランに対する「先制攻撃」は、まぎれもなく国連憲章と国際法に反する暴挙だ。③日本は平和憲法を掲げ、教育基本法は「平和で民主的な国家及び社会形成者」を育てるとしている。桑折町は「非核平和の町宣言」のもと、平和学習をすすめている。このような国、町であればこそ、意見書提出は必須である。</p>	<p>発議第1号 意見書</p>	